厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）

分担研究報告

研修プログラムの文献検索

研究分担者　高橋　理　（聖ルカ・ライフサイエンス研究所臨床疫学センター　センター長）

**研究要旨**：　本研究は、看護師が高度な看護実践を行うために必要な能力を修得ための教育プログラムについて文献を調査し今後我が国で作成する折の資料とすることを目的とした。文献検索ソフトはPubMedとCochrane libraryを用い、Key Wordは主にNurse Practitioner　(NP)とした。PubMedのNP教育に関連する論文数は、1971年の1件から1990年頃より急に増加し、2010年は年間170本を越えた。合計は2,899件であった。10を越える国々からNP教育論文が発表され、ほとんどの国のプログラムは修士レベルで提供されているが、米国は2015年までに博士レベルまで要求水準を挙げ、オーストラリアなど他の国でも将来博士レベルの教育を導入することを検討している。Cochrane libraryでは、review1件、trialが25件抽出された。26件のうち、1件のみNP養成プログラムに関する論文で、シミュレーションの効果についてのランダム化比較試験であった。シミュレーションによる学習効果はonline教育と差がなく、学習者の満足度が向上すると報告していた。日本の医療は欧米と同様に高度化し、医師不足などを考えると、高度な医療知識を持ち、安全に特定の医行為を行うNPの養成が必要不可欠となろう。そのためには、他国のNP養成プログラム作成内容、評価過程は参考になると思われた。

1. **研究目的**

　本研究では、看護師が患者の安全性を確保しながら特定の医行為（特定行為）を含めた高度な看護実践を行うために必要な能力を修得するために必要な教育プログラムについて既存の欧米のプログラムに関する文献を調査し今後我が国で作成する折の資料とすることが目的である。

1. **研究方法**

文献検索ソフトはPubMedとCochrane

libraryを用いた。Pubmedの検索式は、MeSH termとsubheadingを利用し、最近5年間に出版された論文に絞り検索を行った。Cochrane libraryでも、Nurse practitionersを主なキーワードとして検索を行った。

1. **研究結果**

PubMedのMeSH term はNurse

PractitionersとAdvanced Practice Nursingであった。subheadingはeducationを用いた。検索数は1972年から現在（2013年3月）まで2,899件であり、1990年頃から急激に論文数が増加していた（図1）。その中で、article typeをreviewとし、最近5年間の論文に絞り、検索式は以下に示す通り\*であり、最終的に53件が抽出された。これをもとに各国のナースプラクティショナー（以下NP）の養成プログラムについて報告する。

\*"Nurse Practitioners/education"[Mesh]

OR "Advanced Practice Nursing/education"[Mesh] AND (Review[ptyp] AND "2008/03/13"[PDat] : "2013/03/11"[PDat])

米国：　1965年コロラド大学で初めてのナー

スプラクティショナー（以下NP）講座が開講し、その後NPはアメリカの医療現場で重要な役割を担っている。NPの裁量権や活動内容は、州や専門領域により異なる。2004年に行われた質問票調査でアメリカのＮＰの約10％しかその当時の教育が十分であると回答していなかったことより、Doctor of Nursing Practice（DNP : 看護実践博士）の必要性が高まった。DNPは2004 年から導入された制度であり，多くの州では，2015年までにすべてのNP は，DNPもしくはそれ以上の学位を取得することが要求されている。DNP は修士号の要求単位に加え40 単位以上取得することが求められる。

英国：1991年初めてのＮＰ養成プログラムがRoyal College of Nurseで開始された。NPはWalk in Centreや在宅医療分野において、身近でアクセスのよいプライマリケア医療者として、一般的な軽症の疾病・傷害に関し独立してアセスメント・診断・治療を行っている。また、専門医へのゲートキーパーとして重要な役割を担っている。英国の看護基礎教育課程は現在3年制と4年制があるが、2013年中頃以降4年制へ移行させる予定である。NPの教育は主に大学で行われており、学士と修士のコースがある。基礎教育の4年制移行に伴い、今後は修士コースが主流になってくると予測されている。

オランダ：1997年にＮＰの修士レベルコースが開始された。2009年よりＮＰは専門看護師として登録することができる。それ以後、増加傾向である。NPはphysician assistant (PA)とチーム医療を行いながらも異なる役割を担っている。2009年には9大学が修士レベルコースを提供している。

オーストラリア：1990年にNew South WalesでＮＰ教育プログラムが導入され、他の地域にも広がりつつある。39大学のうち、18の大学がNP修士レベルコースを提供している（2010年）。現在、博士コースへの移行が検討されている。

韓国：1973年に分野別看護員（2000年より専門看護師に変更）の養成開始、1年間の教育プログラムを指定施設において終了後、国家試験を合格後に資格が得られた。2003 年に大学院修士課程でNP を養成する体制を確立し，2005 年8 月に国家資格取得のための試験が実施されており、益々増加傾向である。

シンガポール：2003年よりＮＰ教育の修士レベルが開始されている。2006年にＮＰの登録制度が確立されている。

シミュレーション教育：53件のうち養成・評価プ

ログラムのシミュレーションに関する文献が2つ

抽出された。方法としては主に３つ述べており、

１）ロールプレイング、２）standardized patient

を用いた方法、３）シミュレータを用いた方法、

であった。standardized patientを用いた方法は、

電子聴診器を併用した方法などが述べられてあ

った。NPのなかでも、特にfamily NPに関する

シミュレーションを用いたプログラムがほとん

ど行われていないことを今後の課題としている。

Cochrane Library:　MeSH termはnurse practitioners でqualifierをeducationとし検索した結果、review1件、trialが25件抽出された。教育プログラムに関する文献はtrialの1件のみであった。それは、NPコースの学生20人を対象に、人工呼吸器を学ぶことを目的として、onlineでスライドを用いた群とシミュレータを用いた2群にランダムに割り付け、知識の習得度と満足度をアウトカムとしたランダム化比較試験を行った。その結果、知識習得は違いがなかったが、満足度はシミュレータを用いた群で有意に高い結果であった。

1. **考察**

　今回の研究で、NP教育に関する研究論文が1990年頃から急激に増加していることが分かった。また、米国をはじめ欧米、アジアなど様々な国でNP教育への関心度の高さが明らかとなった。

各国でのNP養成プログラムは大学の修士レベルでの教育が一般的であり、わが国の目指すところと同様と思われた。Cochrane Database of Systematic Reviewによると、プライマリケア領域おいて、NPとプライマリケア医と診療効果について比較したRCTは1966年から2002年の間に、25件あり質の高い16件のRCTをSystematic Review施行したころ、診療の質は2群で有意な差は見られなかったと報告している。このように、今後、わが国でもNPプログラムの評価には最終的には患者アウトカムを比較した質の高い研究が必要になってくるであろう。

米国は1965年以来50年近い歴史を持つNP養成プログラムを何度も改訂し現在、修士レベルから、DNP の博士レベルへ要求水準を上げている。2009年までに米国では660名のナースがDNPを終了している。これらのことより、カナダやオーストラリアなどと同様、わが国でも修士レベルでよいのかさらに博士レベルが必要なのか、わが国の現状に合わせ内容を吟味することが課題になるかもしれない。

1. **結論**

日本の医療は欧米と同様に高度化し、医師不足などを考えると、高度な医療知識を持ち、安全に特定の医行為を行うNPの養成が必要不可欠となろう。そのためには、他国のNP養成プログラム作成内容、評価過程は参考になると思われた。

1. **研究発表**

1. 論文発表

　特になし。

2. 学会発表

　特になし。

1. **知的財産権の出願・登録状況**

特になし。

図１NP教育に関する論文数

NP: Nurse Practitioner

検索式：Nurse Practitioners/education"[Mesh] OR "Advanced Practice Nursing/education"[Mesh]

**参考文献**

1: Aiken LH. Nurses for the future. N Engl J Med. 2011 Jan 20;364(3):196-8.

2: Brar K, Boschma G, McCuaig F. The development of nurse practitioner preparation beyond the master's level: what is the debate about? Int J Nurs Educ Scholarsh. 2010;7:

3: Bryant-Lukosius D, Carter N, Kilpatrick K, Martin-Misener R, Donald F,Kaasalainen S, Harbman P,Bourgeault I, DiCenso A. The clinical nurse specialist role in Canada. Nurs Leadersh (Tor Ont). 2010 Dec;23 Spec No 2010:140-66.

4: Burman ME, Hart AM, Conley V, Brown J, Sherard P, Clarke PN. Reconceptualizing　the core of nurse practitioner education and practice. J Am Acad Nurse Pract. 2009 Jan;21(1):11-7.

5: Corbridge SJ, Robinson FP, Tiffen J, Corbridge TC. Online learning versus simulation for teaching principles of mechanical ventilation to nurse

practitioner students. Int J Nurs Educ Scholarsh. 2010;7:Article12.

6: Khattab AD, Rawlings B. Use of a modified OSCE to assess nurse practitioner students. Br J Nurs. 2008 Jun 26-Jul 9;17(12):754-9.

7: Miranda L, et al. Substitution of doctors by nurses in primary care. Cochrane Database of Systematic Review, 2004

8: Pittman OA. The use of simulation with advanced practice nursing students. J Am Acad Nurse Pract. 2012 Sep;24(9):516-20.

9: Sheer B, Wong FK. The development of advanced nursing practice globally. J Nurs Scholarsh. 2008;40(3):204-11.

10: Sroczynski M, Dunphy LM. Primary care nurse practitioner clinical education: challenges and opportunities. Nurs Clin North Am. 2012 Dec;47(4):463-79.

11. Tuaoi LA, Cashin A, Hutchinson M, Graham I.Nurse Practitioner preparation: is it time to move beyond masters level entry in Australia? Nurse Educ Today. 2011 Nov;31(8):738-42.